

議会だより

しらたか

2019年7月16日発行
(令和元年度)

Vol.143

山形県白鷹町議会

6月定例会



「育てて食べたよ」 わが町自慢の紅花パワー 11頁に関連記事

国際交流を推進 ② p

ここが聞きたい 一般質問1人の議員が町政を問う..... ⑦ p

新企画 知れば得する“ぎかい”のキホン ⑫ p

シリーズ「ボランティア白鷹の未来を彩る」... ⑯ p

お手持ちのパソコンやスマホ等で議会中継をご覧ください。録画でもご覧いただけます。



この広報は、議員の自主編集で発行しています。



国際交流を推進

交流事業費として1129万円補正

6頁に関連記事



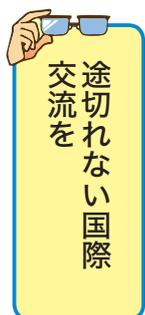
国際交流の舞台として

◆主な経過

平成30年8月に中国ソフトボールのホストタウン登録団体に承認されたことを受け、9月に白鷹町ホストタウン推進本部を設立。平成31年3月に町長が中国を訪問し、事前合宿誘致等に向けた覚書を締結した。

◆主な交流事業(予定)

- 7月：中国ティーボール少年団が白鷹町を訪問し、野球スポ少と交流。
- 8月：中国ソフトボールナショナルチーム(若手)が合宿。
- 9月：オリンピックアジア・オセアニア地区最終予選(上海)への応援ツアー。



途切れない国際交流を

〔委員〕 東京オリンピック・パラリンピックホストタウン交流事業の中の、補助金800万円の使い道は。

〔当局〕 中国ティーボール少年団と、女子ソフトボールナショナルチームとの交流事業に、およそ620万円を予定。上海で開催される地区最終予選への応援ツアーの補助として、およそ180万円を予定している。

〔委員〕 応援ツアーの対象者や人数は。

〔当局〕 町民の方およそ12人を募集したい。ツアー費用は1人30万円ほどと見込んでおり、15万円程度の補助を考えている。

6月定例会

定例会は6月12日から19日までの8日間で開催され、令和元年度補正予算2件、条例改正3件、人事案件2件、工事請負契約1件、取得案件1件について審議し、原案のとおり可決しました。また、請願2件について、1件を採択、1件を不採択としました。一般質問は1議員が行い、町政の事業について問いました。

予算特別委員会質疑

補助金の使い道は

新しい議会 いよ 始動 いよ

議会の新体制が決まる

5月8日に初議会が開催され、新しい議会の体制が決まりました。白鷹町がより良い町になるよう、引き続き、一丸となって取り組んでまいります。

議長

今野 正明

議会運営委員会

菅原 隆男
小口 尚司
関千鶴 子

監査委員（議会選出）

丸川 雅春

副議長

山田 仁

山田 俊一
菅原 俊一

置賜広域行政事務組合 議会議員

今野 正明
遠藤 幸一
菅原 隆男

総務厚生常任委員会

小口 尚司
笹原 俊一

議会広報特別委員会

笹原 俊一
横山 和浩
丸川 雅春
竹田 雅彦
金田 悟

西置賜行政組合議会 員

小口 尚司
笹原 俊一
竹田 雅彦

産業建設常任委員会

関千鶴 子
金田 悟
菅原 隆男
山田 仁
奥山 勝吉
丸川 雅春

予算特別委員会

奥山 勝吉
関千鶴 子
ほか議長を除く全議員

議会活性化特別委員会

山田 仁
菅原 俊一
ほか議長を除く全議員

議会傍聴のお誘い

皆様の傍聴を心からお待ちしております



新議場とともにスタート

条例

- 白鷹町町税条例等の一部改正
 単身児童扶養者の町民税非課税要件の見直し及び軽自動車税の臨時的軽減を行うもの。
- 白鷹町子ども・子育て会議条例の一部改正
 委員の任期を調整するもの。
- 白鷹町介護保険条例の一部改正
 低所得者の介護保険料を軽減するもの。

契約

- 鮎貝第二污水幹線更新工事（第1工区）請負契約の締結
 契約の方法 随意契約
 契約金額 1億6170万円
 契約の相手方 JFEエンジニアリング株式会社東北支店
 荒砥橋架け替え工事に伴い、汚水の圧送管を新しい橋に取り付けるもの。

人事

- 白鷹町農業委員会委員
 中川 要一氏（山口）
 原田 幸雄氏（黒鴨）
 欠員の生じている農業委員を任命するもの。

取得

- 学校給食配送車の取得
 取得予定価格 819万5000円
 取得方法 物件購入契約
 契約の相手方 迎田自動車整備工場

配送車2台のうち、老朽化した1台を更新する。納期は令和2年3月25日の予定。



おいしい給食を運んでくれて、ありがとうございます。(更新予定の配送車両)

第4回臨時会 5月8日

◎平成30年度一般会計補正予算の専決処分(※)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ2296万8000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ94億5461万7000円とするもの。

◎白鷹町町税条例等の一部改正の専決処分

住宅借入金特別控除の控除期間の拡充等を行うもの。

◎白鷹町国民健康保険税条例の一部改正の専決処分

課税限度額の引き上げ、低所得者への軽減措置の拡充が行われたことに対する対応。

◎白鷹町町税条例等の一部改正

ふるさと納税制度の見直し等に対応するもの。

(※) 専決処分：議会を招集する暇がないときなど、首長が予算や条例などを議会の議決を経ずに、自らの権限で決めること。処分後には、議会で報告し承認を求める必要がある。地方自治法に規定されている。

請願審査

採択 1件
不採択 1件

■白鷹町大字高玉地内の町道路線の認定と道路整備について

採 択

- 請願者 西高玉区長 多田 章／蚕桑6町内長 本木 茂
- 紹介議員 金田 悟
- 請願事項 当該道路は、地域住民の重要な生活路線となっているが、現状は未舗装路である。町内屈指の豪雪地帯であり、除雪等に苦慮している。町道として認定し、早急な整備をお願いしたい。

審査過程

- *付託委員会 産業建設常任委員会
- *委員長報告 採択すべきもの
- *賛成討論 なし
- *反対討論 なし



早期整備が望まれる

= 全員賛成により、採択 =

■消費税10%中止を国に求める意見書提出の請願

不採 択

- 請願者 西置賜革新懇話会 代表世話人 今泉 義憲
- 紹介議員 関 千鶴子
- 請願趣旨 実質賃金は伸びず、深刻な消費不況が続いている。税率引上げ実施による国民生活への影響は計り知れない。
- 請願事項 消費税10%への引き上げを中止するよう、内閣総理大臣と衆参両院議長に意見書を提出いただきたい。

審査過程

- *付託委員会 総務厚生常任委員会
- *委員長報告 不採択とすべきもの
【不採択の主な理由】政府の方針に変わりがない。取り下げが行われれば、逆に混乱が生じる。持続可能な国政運営。福祉事業の充実など将来を見据えた方向性等の意見があった。
- *賛成討論 実質賃金が伸びず生活への影響が懸念される。複数税率による混乱も心配される。低所得者の方が増税の影響が大きく、景気の悪化が心配される。日本世論調査会の実施した結果では、多くの国民（59.7%）の人が増税に反対と回答している。
- *反対討論 なし

= 賛成少数のため、不採択 =

経済状況を「見える化」

質疑

地域応援事業の内容は
委員 地方創生に向けてがんばる地域応援事業の詳細な説明を。
当局 一般財団法人地域活性化センターの助成事業に採択されたもの。
 町の外から利益を得ている産業は何か、地域で生まれた所得がき

質疑

ちんと地域内に分配されていくかなど、地域の経済状況を「見える化」するための調査分析等を行う。民間の調査会社に委託し実施する予定。
 を正確に把握すること
 で、よりの確な施策の検討につながっていくと考えている。さらに、町民の方々とも情報共有し、地域活性化に近づけていきたい。

事業の効果は

委員 この事業により、どのような効果を期待しているか。
当局 地域経済の基本的な構造、現状や課題



見ようとする気持ちも大事

一般会計補正の主なもの

地方創生に向けてがんばる地域応援事業 180万円
 今後の政策立案に向けて、地域経済の調査、分析、シミュレーション等を実施する。

東京オリンピック・パラリンピックホストタウン交流事業 1129万円
 ホストタウン関連事業を推進する。

2頁に関連記事

分館施設整備費補助金 193万円
 申請の増加見込みに基づく追加計上。

介護保険特別会計繰出金 814万円
 介護報酬改定等に伴うシステム改修及び低所得者保険料軽減強化による調整。

風しん予防接種事業 446万円
 予防接種を受ける機会がなかった対象者に、抗体検査と予防接種を無料で実施する。

中山間地域等直接支払交付金事業 400万円
 自走式草刈り機導入を支援する。

林業振興費（路線踏査検討業務委託）505万円
 森林管理道白鷹東部線の計画見直しに向けた路線の踏査検討を行う。

地域交流広場整備事業 1億7361万円
 地域づくりの活性化や地域課題の解決に向け、地域交流広場を整備する。

11頁に関連記事

プレミアム付商品券事業 653万円
 プレミアム付商品券販売に係る事務費。

など

◎財源は国・県支出金、繰越金などで対応します。

令和元年度補正予算総括表

会計項目	補正額	補正後の額
一般会計	2億3362万円	87億8362万円
介護保険特別会計	116万円	17億5816万円

※万円未満は端数を調整しています。

福祉人材の確保、定着を

町長 情報提供や意見交換を行い、支援のあり方を検討する

障がい者雇用の状況は

問

白鷹町役場の「障害者法定雇用率」は何%か。達成率を上げる対策は。

町長

6月1日現在で2・62%であり雇用率は達成していない。今後も障がいの状況に応じた短時間勤務の設定など、多様な形態を検討しながら雇用に取り組んでいく。

問

定着率も大事。就業後、定着できなかつた方や、就業までいかなかつた方への支援策は。

健康福祉課長

「障害者総合支援



竹田雅彦議員

法」に基づいたサービスの中で支援を行っている。就職を希望する方には就労移行支援や就労定着支援、就労に結びつかなかつた方には就労継続支援(A型・B型)にて相談支援事業所と連携を図り調整し対応している。

福祉人材の確保は

問

福祉人材の確保・定着は大きな課題。町としての方策は。

町長

平成24年より、主に荒砥高校生を対象に介護職員初任者研修事業を実施している。今後は、人材確

保に向けた情報提供や意見交換を行うほか、介護ロボットやICT等導入の補助制度や認証取得制度などの制度の周知も含め、支援のあり方を検討していく。

問

研修修了生の福祉分野への就職、定着状況は。

企画政策課長

実施後7年間で44

人が修了。そのうち荒砥高校の修了生は23人おり、福祉施設に就職した方は15人となっている。定着に関しては、追跡調査は行っていない。

問

他の自治体では、介護現場で働き5年以上定住する人に奨励金がある。所見は。

町長

現時点では考えていないが、施設で働く環境をどう充実していくかということに対しての支援は考えていきたい。

福祉避難所の確保は

問

災害時における高齢者・障がい者・乳幼児等、要配慮者が避難できる福祉避難所の確保状況は。

町長

平成25年に、「白光園」「白鷹陽光学園」「白鷹あゆみの園」「ふれあいの里」「マイスカイ中山」の5施設と協定を締結した。

問

西中跡地に建設中の老人福祉施設も福祉避難所になるのか。現施設の避難所機能は残るのか。

副町長

新しい施設についても、福祉避難所の体制を組み込んでいく計画で進めている。現施設は、法人側と綿密な連携をとりながら進めていく。

問

福祉避難所への財政的支援は、総務課長

避難所で使用する食料等生活必需品の費用も含めて、町の負担になる。災害の程度・規模にもよるが、災害救助法や特別交付税の対象になる場合もある。



いきいきと安心して暮らせる福祉施策の充実を

一般質問とは、議員が町政全般について、その事務の執行状況や将来の方針等の報告・説明を求め、政策の提言や質問をすることをいいます。

総務厚生常任委員会

快適な学校環境づくり

6月14日に委員会が開催され、小中学校冷房設備整備事業について説明を受けた。

小中学校にエアコン

【経過】

昨年度の補正予算で費用を確保し、今夏の稼働を目指し、小中学校に冷房機械を取り付けている。

質疑

使うための経費は

委員 エアコンを使うことで快適な環境で授業を受けられると思

	教室	台数
蚕桑小	16	18
鮎貝小	18	24
荒砥小	23	32
東根小	16	20
白鷹中	30	40
合計	103	134



工事も生徒も安全第一

なるべくコストを抑えて

委員 エアコンによる暖房は電気料が増えるというが、制限する必要があると思う。冬期間の暖房は主に既存のFFファンヒーターを用いるが、季節替わりでは柔軟に対応したい。

冷房専用機か

委員 冷房のみの機器を導入するのか。

当局 冷暖房機器である。

委員 冬期間は既存の暖房機器と併用するのか。

当局 エアコンによる暖房は電気料が増えるというが、制限する必要があると思う。

図書館のさらなる活用

白鷹町立図書館のオープンについて説明を受けた。

質疑

国立国会図書館へのアクセスは

委員 来館者が自ら操作して、国立国会図書館にアクセス可能か。

当局 国立国会図書館のホームページには、

図書館設置の端末で利用者自らアクセス可能であるが、データ等を取り寄せる場合は、司書に相談願いたい。

書籍の充実

委員 どういう基準で本を選ぶのか。年間予算は。

当局 図書館のオープンに向けて多額の寄付を頂き、蔵書に充てさせていただいた。

現在も要望を聞き購入している。来年度以降も様々な声を聞きニーズをつかみ、それに沿った形で予算を要求したい。



どんな本があるか、わくわく

利用者の声を大切に



いよいよオープン

その他
 ○町誕生65周年記念事業
 ○有限会社ケイエスしらかの経営状況
 について説明があった。

紅花生産振興への後押しを

6月17日に委員会が開催され、中山間地農業ルネッサンス推進事業について説明を受けた。

【事業目的】

中山間地の持つ、豊かな自然等を活かし、「日本の紅（あか）をつくる町」推進事業において、更なる紅花生産・観光振興、誘客拡大を目指し行うもの。

質疑

各課の連携は

【委員】 栽培面積の推移は、担当の商工観光課と農林課との連携はどうなっているか。

【事業内容】

- ① 紅花活用・受注拡大事業（紅花販路拡大、ポスター・チラシ制作PR等）
- ② 藍と紅のプロモーション事業（紅花畑栽培支援、プロモーション活動等）

そのほかに、紅花振興のための事業として、農山漁村振興事業（事業費300万円）を活用して、堆肥支援事業等を実施する。

栽培面積拡大の方策は

【委員】 栽培面積の拡大に向け、大規模農業生産法人等との連携の可

性能は。

【当局】 水田と畑での栽培の違いをよく考えて取組む必要がある。なかなか思うように進まない状況があるが、一歩一歩前進するようがんばっていく。



白鷹の夏を彩る紅の花

収益向上の対策を

新たなマスタープランの策定へ

都市計画マスタープランの策定及び都市計画道路の変更について説明を受けた。

◆都市計画マスタープランの策定

【経過】

社会情勢の変化、都市計画の進捗状況を踏まえ見直しが必要となったため、平成29年度より改定に向けた取り組みを進めてきた。

【今年度の取組】

地域別構想や実現化方策の素案検討等、年度末に新たなマスタープランを策定する。

◆都市計画道路の変更（山形県決定）

【見直し検討状況】

菖蒲思川線及び荒砥十王線が見直し対象に該当。

【一般国道287号菖蒲工区道路整備事業の状況について】

平成31年3月に策定された「山形県道路中

期計画2028」において交通安全対策等の機能強化すべき箇所として掲載され、計画前期（2019～2023）に事業着手予定とされた。

で、どう進むべきか、話し合いをさせていた

質疑

荒砥駅西の将来像は

【委員】 かつて都市計画にあがっていた荒砥駅西側は、現在、10世帯ほどあるが、荒砥橋に上がる道も一本しかない。現状を踏まえた見解は。

【当局】 土地利用は、これから考えていきたい。公共投資をした場合、町全体にどのような影響があるか、検討が必要である。今後、地域の方が何を望ん



荒砥駅西側

町民への丁寧な説明を

その他
○一般財団法人白鷹町アルカディア財団の経営状況
○令和元年度イノシン捕獲及び被害状況
について説明があった。

黒字だが、宿泊・飲食等の売上は減少



パークゴルフで健康づくり

事業報告

一般財団法人 白鷹町アルカディア財団

理事長 横澤 浩

◆概要 平成30年度は、温泉・食事・軽スポーツを組み合わせた「健康づくり」の事業をはじめ、日本パークゴルフ協会公認となったパークゴルフ場の有効利用等、積極的な取り組みを継続した。

また、東北中央自動車道の開通や、米沢・長井の道の駅の開業等により、置賜エリアの経済環境が変わる中、関係機関との連携強化やネットワーク構築に取り組んだ。

◆収益高 宿泊・飲食に関連する事業の収益減少により、経常収益合計は3億4068万円（前年比416万円の減）であった。

一方で、経常費用は3億3964万円（前年比498万円の減）となり、当期損益は97万円（前年比82万円の増）の黒字となった。

○主な事業の利用者数（ ）は前年比

宿泊	9045人（47人減）
宴会	2万381人（296人減）
レストラン	1万113人（558人増）
もりもりハウス	1825人（183人増）
スキーセンター	4183人（726人減）
入湯	5万8104人（211人減）
スポーツ施設	3万4365人（2858人増）

※スポーツ施設は、パークゴルフ東北大会等の開催により利用人数が増加した。

○主な事業の売上金額（ ）は前年比

宿泊	7333万円（153万円減）
飲食	1億1723万円（129万円減）
入湯	1308万円（3万円減）
スポーツ施設	745万円（4万円増）

※万円未満は端数を調整しています。



町民が利用したい施設に

職員数が5人減

有限会社ケイエスしらたか

代表取締役 藤島 丈

◎主な業務受注状況

- ◇白鷹町立病院
医療事務・事務宿日直・調理業務
電算保守等
- ◇白鷹町訪問看護ステーション
医療事務
- ◇白鷹町総務課
公用車運転業務等

◎理事、職員数（平成31年3月31日現在）

- ◇理事 2人（非常勤・無給）
 - ◇職員 27人
 - 病院医療事務員 12人（3人減）
 - 電算管理 2人
 - 病院施設管理 4人
 - 病院調理師 6人（2人減）
 - 訪問看護医療事務員 1人
 - 総務課運転手 2人
- ※（ ）内は、一年前との比較。

◎平成30年度決算

- ◇事業収益 1億214万円
- ◇事業費用 1億175万円
- ◇当期純利益 23万円

※万円未満は端数を調整しています。

産業建設常任委員協議会

活性化につながるか 地域交流商業施設

5月27日に協議会が開催され、鮎貝地区地域交流商業施設整備事業について説明を受けた。

【経過】

事業概要は、議会だより「3月定例会号」のとおりである。用地

については、さくらの保育園東側を想定し、敷地全体を南北に分け、北側に地域交流商業施設と駐車場を整備し、南側に各年代層が利用できる交流スペースを整備する。

商業施設については、5月27日現在で、株式会社ファミリーマートより店舗出店協力の打診が届いており、運営者もあわせて検討中である。

質疑

店舗形態は

委員 出店協力が仮にファミリーマートと決まれば、コンビニ形態の店舗となるのか。

当局 ミニスーパーというイメージである。コンビニ商品の他に、生鮮食品等を置けるような店舗にしたい。

既存店との共存共栄は

委員 店舗の計画・運営の方法については具体的に決まっていなと思うが、既存の商店との共存共栄は。

当局 地元の商店の方々とも話し合いを進めてきたが、いずれの商店も出店・運営までには至らないという判断であった。運営については、準備を進めているが、共存共栄できる形で進めたい。



- その他
- 林道路線踏査検討業務委託
- 新荒砥橋架設に係る管渠添架工事等について説明があった。

議会広報研修

見出しを読めば中身がわかる

5月31日「町村議会広報研修会」が山形市で行われた。講師は、議会広報サポーターの芳野政明氏。

市民の関心が高い議案等を優先し、討論や質疑を含めた審議過程等、議会の活動内容をわかりやすく伝えることが重要であるという事を、実際に発行された議会広報誌を検証しながら学んできた。



初心を忘れず

表紙

紅花と給食

育てて食べたよ

町内の小中学校で育てている紅花が育ち、5月28日に地域の皆さんのお力添えで楽しく間引きをしました。

雨が降り大変でしたが、子供たちの頑張りで紅花の畑はスッキリ。紅花がきれいに咲くことでしょう。間引いた紅花の若葉は調理場でキーマカレーの具になり、翌日の給食で友人たちと美味しく食べました。



雨でも頑張る中学生

“ぎかい”のキホン

第1回

議会に要望を伝える

請願と陳情で白鷹を問う

Request to the Town council

自然豊かな白鷹町

時代の変化を受けながらも次世代は育っている

今の課題は何か

将来に不安はないか

町行政は安心できるか

議会は様々な声を伝えているか

白鷹の未来は変えられる

〈写真は蚕桑小学校相撲大会より〉





企画

知れば得する

議会に要望を伝える

あんなこといいな、できたらいいな…
ような制度があることを知ってください。

みなさんのご要望を議会で議論し、議会や行政に伝える仕組みがあります。

請願・陳情といわれるもので、年4回の定例会などで扱います。

議会の日程表に表題(タイトル)が載るほど大切に扱われますし、議論の様子は議場やインターネット放送で見ることがができます。

請願・陳情は誰でも行えますので、まずはこの

顔見知りの議員がいれば相談して、二人三脚で請願書づくりに取り組むのも一つの方法かもしれません。

請願と陳情の違い

それでは、請願と陳情の違いは何でしょうか。

ざつくりと大きな違いは、そのご要望を議会に紹介する議員がいるか、いないかです。

紹介議員がいる場合は請願、いない場合は陳情となります。

請願のメリット

請願の紹介議員は、そのご要望が議会で賛成(採択)を得られるよう、様々な機会に努力をし

ます。

顔見知りの議員がいれば相談して、二人三脚で請願書づくりに取り組むのも一つの方法かもしれません。

議員の知人がいない

議員の知り合いがいないう方は、議会だよりやホームページなどから議員を知り、個人的に相談することもできます。

議員も、みなさんとお話してできることを楽しみにしていますので、遠慮していたらもつたないないかもしれません。

初めての請願・陳情

請願・陳情は文書で提出するのがルールです。

初めて請願・陳情を検討される方は、まずは議会事務局へ相談していただくことをお勧めします。

白鷹町の今と未来のため、皆様の想いを議会に届けてください。

※すべて陳情が議会で議論されるわけではなく、内容等により参考資料として配布のみ行われる場合があります。

採択されたら

- 【議会】への要望 → 議会が必要な対応を行います
- 【行政】への要望 → 議会は行政に送付します。

議会は、採択内容の実現に向けて努力する政治的・道徳的責任を負います。

荒砥高校単独校での存続を

6月20日、今野議長は佐藤町長と置賜総合支庁を訪れ、『令和2年度重要事業要望書』を総合支庁長に手渡し、町の重要事業に対する県の支援を要望しました。

約1時間にわたり、町関係課長とともに説明をし、意見交換を行いました。

16 項目の要望

- 1 白鷹高等専修学校への支援の充実
- 2 人口減少対策に対する支援
- 3 地方交付税総額の確保充実
- 4 地域公共交通に対する支援
- 5 過疎対策事業債の必要額確保
- 6 新たな過疎対策法の制定と支援【新規】
- 7 地域医療の確保
- 8 インバウンド着地型観光推進のための環境整備
- 9 木材の安定供給体制を構築するための支援強化
- 10 中丸地区農村地域防災減災事業の早期実施
- 11 森林境界明確化事業に対する支援【新規】
- 12 主要地方道長井白鷹線道路改築事業（荒砥橋工区）の推進
- 13 国道287号（菖蒲・下山地内）道路改築事業の早期着工
- 14 長井～白鷹間の西廻り幹線道路調査の早期着工
- 15 峰岸地区砂防自然災害防止事業（急傾斜地）の早期着工
- 16 県立荒砥高等学校の単独校としての存続【新規】



どれも重要事業
を願う

追跡 レポート

— 空き家対策編 —

・早急な空き家対策を。解体助成金を望む。(H27.9)

・研修生の宿泊施設として、またお試し移住体験などに空き家を活用できないか。(H28.12)

答
弁

・「空き家等対策計画」を策定する。
・解体等の支援を検討する。

・空き家も一戸一戸状態が違うため、いろいろな角度から話を伺い、少しでも役に立つようなものを考えていく。

どうなった



・平成28年度に「白鷹町空き家等対策計画」を策定し、「特定空き家等の対策」と「利活用可能空き家対策」の2つを中心に施策を展開している。

・「特定空き家等の対策」としては、危険性の高い空き家を優先的に調査し、平成30年度末で28棟を特定空き家等に認定している。特定空き家等の所有者に対しては、建物の状況を通知（助言・指導）し、修繕や解体をお願いしている。また、所有者自らが行う解体を促進するため、特定空き家等に限り解体費用の一部を支援している。

※特定空き家等……放置すれば保安上危険等となるおそれがあるもの。

・「利活用可能空き家対策」としては、平成27年度に町内不動産業者による空き家対策ネットワーク協議会を設立し、空き家の利活用を促進するための「空き家バンク事業」を行っている。また、空き家の流通を促進するため、空き家のリフォーム支援や空き家バンクを利用した町外からの移住者に対する支援も行っている。



対策は着実に進んでいるが、空き家の数は今後も増えると予想される。地域住民との情報を共有しながら、ともに課題解決の道を探る必要がある。

これからも
続けたいです。



新野 孝一 さん

ボランティア

白鷹の未来を彩る

… 蚕桑の歴史を子供たちに …

子供たちに蚕の飼育を伝える先生にお話を伺いました。

どんな活動ですか

蚕桑小学校では蚕の飼育をしていて、繭(まゆ)がき(繭の収穫)まで体験します。私は仲間と一緒にそのお手伝いをしています。

指導のほかに桑園の剪定や管理などもしているので、1年間で30回ほど活動していると思います。

活動のきっかけ
平成14年度に、なぜ



「蚕桑」という学校名なのか思い出してほしい」と当時の校長先生の考えから蚕の飼育が始まり、蚕の飼育指導機関、養蚕農家がボランティアで協力することになりました。その活動が今まで続いています。

とはいえ続けるのが大変になり、もうやめようかと話をしていたら、平成26年度(第2回)蚕系絹文化学習教育奨励賞(一財・大日本蚕糸会)受賞という栄誉を頂きまして、このタイミングでやめるのはちょっと…となり今に至っています(笑)

仲間について
当初は8人で活動を始めました。平成25年から6人に減り厳しい状態だったのですが、昨年从今年にかけて2人の若手女性仲間になりました。

以前からの仲間も高齢になっていきますので、養蚕文化そのものの継承ができると思います。



これからの夢
要請がある限りは活動を続けたいですね。若手の仲間にしっかりと養蚕文化を伝えられたいと思います。

議会へひとこと

上杉鷹山公が推奨していた品目の一つが養蚕で、置賜地域に桑の木が配られました。そのうち3本が今も残っています。長井市、米沢市、そして蚕桑山口地区にあります。

長井市の木は指定文化財になっていますが、米沢市の木は残念ながら確認できなくなりました。

白鷹町の木は地域有志が看板を立て保存活動に取り組んでいます。

地域の歴史や文化がしっかりと継承されるよう、議会で見守ってください。



編集後記

令和という新しい時代が幕を開け、白鷹町議会も新たな体制になりました。スタートを切りまし

同時に広報委員も新人議員を中心に構成され、新鮮な息吹にあふれています。

横山編集長を中心にいかにわかりやすく町民の皆様には議会の内容をお伝えできるか、手に取ってお読みいただけるかを考えながら作らせていただきました。

これまで皆様から寄せいただいたご意見やご感想を参考に、より良い紙面になるように努力してまいりますので、尚一層のご指導をお願いいたします。

(笹原)

広報委員

- 委員長 笹原 俊一
- 副委員長・編集長 横山 和浩
- 委員 丸川 雅春
- 委員 竹田 雅彦
- 委員 金田 悟
- 印刷・長谷川印刷



お手持ちのパソコンやスマホ等で議会中継をご覧ください。録画でもご覧いただけます。

議会だよりのご意見・ご感想などを議会事務局までお寄せください。

